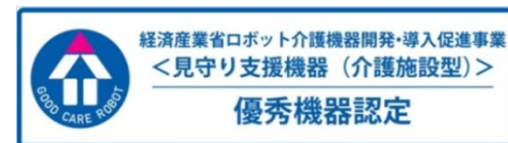
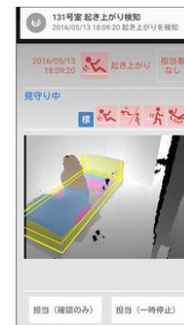


ICT導入支援による介護記録システム導入を 検討されている施設様へ 見守りシステム導入のご提案

高松帝酸株式会社



Neos+Care
ネオスケア



1 転倒事故の 予防

様々な危険動作の予兆を、高精度で検知

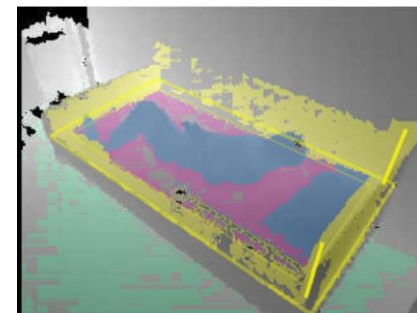
危険動作を検知し通知することにより、早いタイミングでの介助ができますようになります。
万一の事故発生時も、保存された動画から事故の原因を特定し、適切な対策ができます。



2 介護業務の 負担軽減

居室の状況をいつでも確認

モバイル端末・パソコン画面で居室の状況をいつでも確認でき、夜間のストレス軽減や、不必要な訪室が無くなることでの身体的な負担軽減につながります。



3 介護の 質の向上

介護現場の生産性向上

見守り作業(訪室)が減少することで、介護本来のサービスに要する時間が増加します。

効果検証(2017年度北九州市 先進的介護の実証)

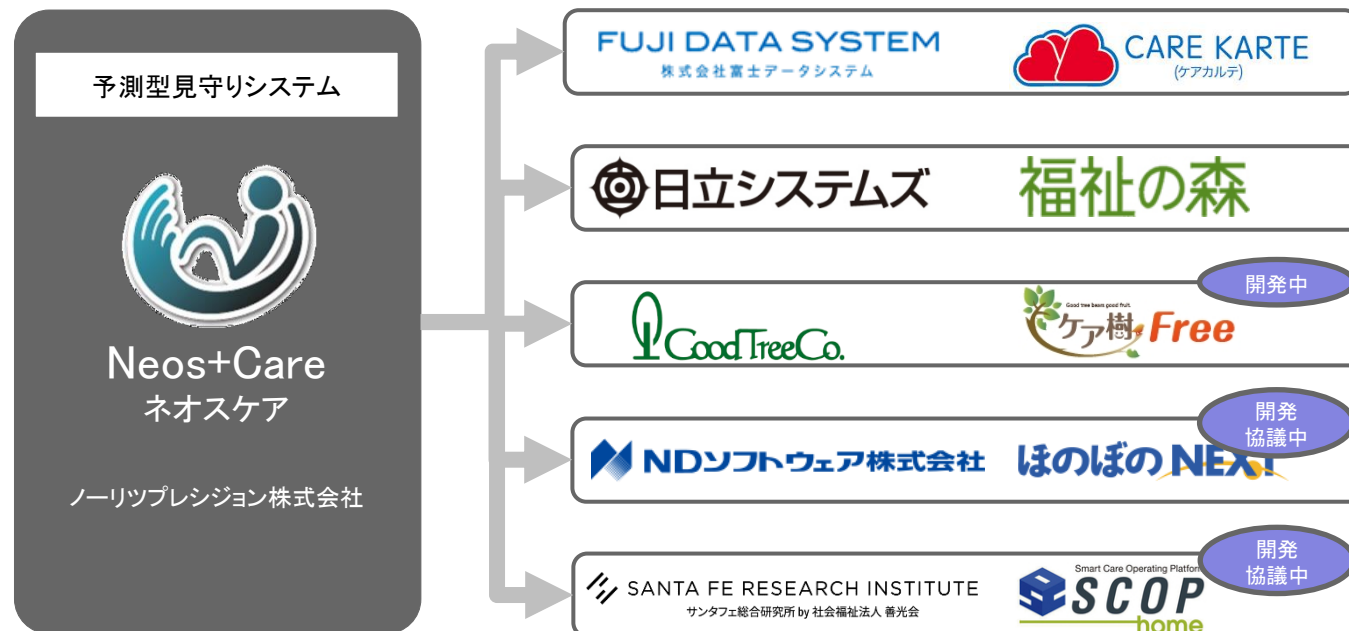
使用前に比べて、見守り作業が減少。サービスに要する時間が増加。

見守り・訪室時間の変化



◆介護記録システムと連携

ネオスケアで検知した動作状況を自動で記録。記録する手間を省くと共に、蓄積されたデータを分析し、今後のケアにも活用できます。



◆様々なシステムを1つの端末に集約

業務に必要な各システムのアプリを1つの端末に集約。ネオスケアとの組み合わせることで他の作業中でも居室の状況を確認でき、効率の良い訪室対応ができます。

2つの補助金を活用することで、よりお得に設備投資が可能



令和2年度 厚生労働省補正予算案(参考資料)より

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000621170.pdf>

	ICT導入支援	介護ロボット導入支援
対象	介護記録ソフト	介護ロボット(見守りシステム)
補助額	県が設定 事業所規模に応じて補助限度額 を設定 上限額:職員31人～260万円	県が設定 上限額:30万円/台 補助上限台数:必要台数(制限なし)
モバイル端末	○ 補助に含まれる	× 補助に含まれない
ネットワーク工事	× 補助に含まれない	○ 見守りセンサーの導入に限り 通信環境整備に係る経費の (上限750万円)

【重要】

県の令和2年介護ロボット導入支援については未定です
令和2年度の支援内容については、県庁の公表をお待ちください

補助金を利用した場合の費用シュミレーション：

ICT導入支援のみ利用

	合計
介護記録ソフト導入費用	3,000,000
通信環境整備費	4,000,000
小計	7,000,000
ICT導入補助	-2,600,000
合計	4,400,000

ICT導入支援および
介護ロボット導入補助利用

	合計
介護記録ソフト導入費用	3,000,000
Neos+Care導入費用 (5部屋分)	3,620,000
通信環境整備費	4,000,000
小計	10,620,000
ICT導入補助	-2,600,000
介護ロボット導入補助	-1,500,000
通信環境整備補助	-2,000,000
合計	4,520,000

※ モバイル端末は共用

北九州での実証試験結果

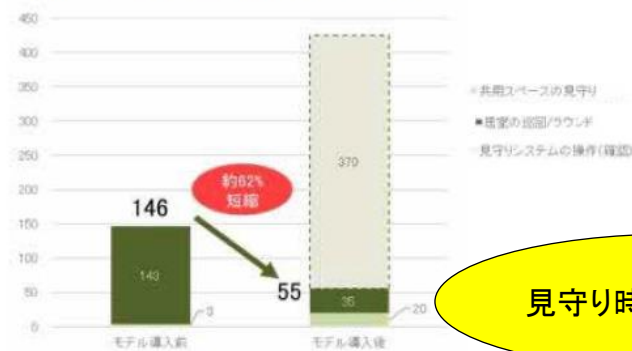
ネオスケア・介護記録システムの共用で、作業効率が大幅に向上。
利用者との対話が増えるなど、介護の質の向上にも寄与。

・機器導入状況



- ・ネオスケアと介護記録を1つの端末で運用
- ・スタッフ詰所に、入居者の居室での状態を確認できる環境を作り、夜間の定時巡回を削減
- ・コールやアラートが鳴った場合に、優先順位を判断できるようにする

夜間見守り時間の変化(分、1日あたり)



見守り時間が、**62%減。**

記録時間の変化(分、1日あたり)



記録時間が、**49%減。**

「令和2年2月20日 内閣府第7回 医療・介護ワーキング・グループ」報告資料より抜粋